

令和4年10月号

西沢ひろふみ市議会レポート

西沢ひろふみ事務所

980-0871 仙台市青葉区八幡5丁目6番1号

Tel 022-717-6340

Fax 022-717-6342



Facebook・Twitter・Web
にて情報発信中！



ご挨拶

こんにちは、西沢ひろふみでございます。
常日頃、私の活動に対しご支援ご協力を賜り、誠にありがとうございます。心から感謝申し上げます。

昨年度は残念ながら新型コロナウイルスの感染拡大が収まらず、私たちの日常の活動も大きく制限され、不本意な一年を過ごされた方も多くいらっしゃるかと存じます。とはいえ、今後はアフターコロナを見据え、しっかりと本市の経済再生に向けた諸施策を強力に押し進め、市民の皆様にとってより安全・安心に住める町を実現していかなければなりません。私も、その実現に向け、精一杯尽力してまいります。



この度、昨年の第3回定例会以降の市議会における活動の一端を市政レポートとしてまとめました。ご一読の上、ご意見等賜れば幸いに存じます。

何卒、今後とも変わらぬお力添えを心からお願い申し上げます。

令和4年10月吉日

西沢ひろふみ 拝

令和3年10月6日 令和2年度決算等審査特別委員会 脱炭素社会の実現に向けて

問 世界中の国々がパリ協定に基づいて温室効果ガス削減に取り組む中、郡市長は、令和12年における温室効果ガスの平成25年度比35%削減、さらにその20年後にはカーボンニュートラルすなわち温室効果ガスゼロの実現を打ち出されました。その取り組みの一つとして、仙台都心再構築プロジェクトにおいて本市独自のグリーンビルディング整備の方針を定め、事業者建物にZEB(ゼロ・エネルギー・ビルディング)化や緑化の推進など、幅広く環境面への配慮を求めています。本市の本庁舎建て替えや市有施設の大規模改修などについてはより環境面に配慮した取組にすべきと考えます。しかし、この相当厳しい数値目標の実現のためには、市長、副市長の下、環境局が他局の上位に立ち、イニシアチブをとって脱炭素を押し進めていく以外には難しいと思います。市長は今後、組織のあり様も含めて、どのように取り組んでいかれるお考えなのか、伺います。

答 郡市長2050年ゼロカーボンシティ実現に向けましては、市民や事業者の皆様方との協働による取り組みはもとより、本市自らが率先してあらゆる事業において範を示すことが極めて重要と認識しております。地球温暖化対策は市政の幅広い分野に深く関わっておりますから、庁内の各局の施策に脱炭素という、このワードについて横串を刺して、各部署が一丸となって取組を推進することが不可欠であります。そのためには、環境局が庁内の脱炭素に関わる施策を網羅的に把握した上で、統括していくことが必要になると考えます。今後、環境局が先頭に立って、各局のより緊密な連携の下で全庁的な脱炭素の取組を円滑に進め、ゼロカーボンシティの実現に向けて牽引役となるように、私自身も意を用いてまいります。

令和3年12月15日 経済環境委員会

博物館閉館中における収蔵品展示のあり方

問 交流人口ビジネス活性化戦略の中間案が示されました。この戦略については、9月の第3回定例会においても別な角度から伺いましたが、この戦略がスタートする2022年4月から2年間は博物館が改修のため休館となっております。

<2ページ目へつづく>

<1ページ目からのつづき>

この時期には隣接地で緑化フェアが開催されますし、翌年にはG7関係閣僚会合開催の可能性もあるなど国内外から観光客のみならず多くの来訪者が見込まれる中で、伊達の歴史、文化に触れることのできる拠点である博物館が使用できないことは観光戦略として痛手でありまゝ。一方、このことで、本市の施策を進める過程において、各局の連携がうまく取れていないケースがあることを露呈してしまいました。しかし、幸いにも、緑化フェア期間中は宮城県美術館のスペースをお借りして収蔵品のレプリカなどを展示できるようになりましたが、残念ながらその後の約1年半については、未だ展示スペースを確保できておりません。早急に他局とも連携し、情報を共有する中で、博物館閉館中も他の市有施設の活用も含めて、伊達文化に触れられる環境整備に取り組むべきと思いますが、御当局のお考えを伺います。

答 文化環境局長 ご指摘のあった博物館はこれまで仙台市の魅力を発信する拠点であり、誘客における大変な目玉であったことは、まさにその通りであります。長期の休館の影響は少なく無いものとの認識を持っております。せっかく仙台の町に来られた方々に伊達文化に触れていただくことができないのは、やはり不満が残りますし、リピーターにも繋がりにくく、今回策定を進めている戦略の趣旨からも外れてまいります。今回の件は、仙台市全体としても観光戦略、交流人口拡大のみならず、その税収の柱でもあるとの大きな観点から、各局で取り組んでいる施設や事業に横串を刺してみろという姿勢が十分ではなかったと受け止めており、この点については反省すべきことと認識しております。今後は、殊に博物館に関しては収蔵品の展示方法や扱い方といった専門性の部分もありますので、しっかりと教育委員会など関係部局とも十分連携しながら、知恵を絞ってまいります。

令和4年1月21日 経済環境委員会

アーバンスポーツを楽しめる施設の整備促進を

問 東京オリンピックにおいて、日本人選手の皆さんがスケートボード等の競技で大活躍をされたことから、新たにこれらのスポーツに取り組まれている方やこれから挑戦してみたいと考えておられる方も多いと伺っております。本市においては、スケートボード施設を榴ヶ岡公園や新田東総合運動場(ここはBMXにも活用可能)に整備しておりますが、この意識の高まりを踏まえると、さらなる施設整備も必要と考えます。しかし、これまでの本市スポーツ推進計画では新たな施設整備には消極的でありましたし、現在策定中の新計画(中間案)においても施設整備について明確な記載はありません。私は今後、スケートボードをはじめこれらアーバンスポーツを楽しめる施設を新設する、あるいは老朽化で既存施設を大規模改修する際には、このような機能を加えて整備し直すといった取組を推進すべきと思いますが、文化観光局長のお考えを伺います。

答 文化観光局長 本市が所管する数多くのスポーツ施設は、ご指摘のように、一斉に老朽化という大きな問題に直面しており、現在、全市的な公共マネジメントシステムの中で大規模修繕も含めて改修計画に取り組んでおります。今後、スポーツ施設の大規模修繕などの際には、そこに新しい機能を付加できないのかといった視点を持ちながら、可能な施設修繕等をしっかりと進めてまいります。



令和4年2月21日

県民会館跡地活用をはじめ定禅寺通エリアの活性化を

問 市長も施政方針で述べておられるように、県民会館のある場所は、定禅寺通エリア、さらには都心全体のまちづくりにとって大変重要であります。この県民会館移転は令和10年頃、そして実際の活用となると、今から10年後ぐらいになると思います。とはいえ、コロナ禍により定禅寺通エリアは非常に大きなダメージを受け、空き店舗も増えており、大変厳しい状況にあります。これを踏まえると、このエリアの活性化は待ったなしだと思います。

<3ページ目へつづく>

<2ページ 質問のつづき>

従って、このエリアのにぎわい、活力を生み出すための短期的、長期的の両面からの取組を進めていく必要があると考えます。まず、短期的な取組として、本市のまちづくりに参加したいと考える若い人たちが、いつでも自由に集いまちづくりについて語り合える場所を、民間施設なども含めてこの地域に早期に設置すべきと考えます。昨年、残念ながらコロナ禍のため限定的な開催となりましたが、このエリアで大規模社会実験を実施したところ、多くの学生や若者が参加し大変活躍されたと伺っており、若者の活躍の舞台としての素地が大いにあると思うからであります。また、長期的な取組としては、県民会館跡地の活用の際し、この場所をこうした若い人たちがいつでも集える機能を備えた若者のシンボルタワーにするのもありと思いますが、市長のお考えを伺います。

答 郡市長 本市は、仙台駅周辺と並ぶ都心の核とするべく、定禅寺通エリアの活性化に努めてまいりました。そのような中、コロナ禍は、飲食店や宿泊業を中心に大きな打撃を与えており、定禅寺通エリアにおいてもその影響が顕在化していると認識しております。定禅寺通エリアにおいて、昨年は予定していた大規模社会実験がコロナ禍に伴い中止となりましたが、クリエイティブな若者によるアートファッションのイベント企画などがあり、新年度には再度、民間主導で実施しようとする動きが高まっております。これらの取組は、このエリアのまちづくりはもとより、人流の回復や周辺の飲食店への経済波及効果など、コロナ禍からの活力創出としても重要性が増しているものと存じます。私は、長年、文化交流や市民活動の拠点として仙台ならではの魅力を培ってきた定禅寺通エリアは、若者が創造性を発揮する場にふさわしいと考えておりまして、県民会館の跡地につきましても、若者に訴求する利活用の在り方などについて、県とも協議してまいります。

令和4年4月27日 委員会市内視察 十八夜観世音堂



令和4年4月27日 委員会市内視察 橋姫明神由来碑



令和4年2月21日 第1回定例会一般質問 本市中心部における渋滞対策の強化を

問 本市の顔とも言える青葉通仙台駅西口では広場化の構想が進んでおり、定禅寺通においても活性化に向けた再整備を行う予定になっております。これらは、本市の魅力向上に資する素晴らしい取組と思いますが、隣接する都心の幹線道路である広瀬通の渋滞が最近ひどくなっていることから、今後、都心を東西に結ぶ3本の幹線道路の内、青葉通、定禅寺通において車線を減らす規制を実施した場合、広瀬通へ通行車両が流入し、さらなる渋滞をまねく危険性が高いと危惧いたしております。御当局は現在の渋滞状況をどのように捉えておられるのか、その原因も把握した上で早急に渋滞対策を講ずるべきと思いますが、お考えを伺います。

答 建設局長 広瀬通では、交通量が多いことに加えて、客待ちタクシーや荷下ろしなどにより渋滞が生じているものと認識しております。これまで、違法駐車防止の啓発活動など交通の円滑化の取り組みを進めており、これに加えて、今後、関係機関と連携しながら、部分的な交差点の改良などについても検討してまいります。中長期的には都心を迂回する都市計画道路の整備を進め、都心を通る車両を抑制することにより、渋滞の緩和を図ってまいります。

令和4年5月21日 経済環境委員会

本市の食糧自給率向上のための取組強化を

問 ロシアのウクライナ侵攻により、世界的に小麦の供給が滞っております。小麦の85%を輸入に頼るわが国では、小麦価格も高騰し、国民の生活にも大きな影響が出ております。その意味で、食糧安全保障の観点からも、これからは国だけではなく地方都市も食糧自給率向上にさらに努める必要があるものと考えます。わが国の食糧自給率は37%と低い水準にありますが、本市の食糧自給率は、国の地域食糧自給率試算シートで試算しますとカロリーベースで約6%とさらに低い水準にあると伺っております。少なくとも、本市の食糧自給率を現在の国のレベルまで引き上げる取組を推進すべきと思いますが、御当局の考えを伺います。

答 経済局農林部参事 本市では、これまでJA仙台などと連携して生産の拡大に取り組んでおります。本市の推す水田を活用して、米をはじめ麦、大豆、さらに去年は家畜の飼料用の米と生産の拡大に取り組んできております。今後も、今年度より県内においては家畜飼料用の子実用トウモロコシ、デントコーンの栽培が始まっており、食糧自給率向上に向けて、さらなる施策の充実強化を図ってまいります。



令和4年4月27日 委員会市内視察 八幡宮碑



令和4年4月27日 委員会市内視察 広瀬橋

令和4年9月5日 歴史まちづくり調査特別委員長報告

第3回定例会初日に、歴史まちづくり調査特別委員会委員長として、この1年間の委員会活動報告をいたしました。この委員会は、特色ある歴史資産を活用した戦略的まちづくりに取り組み、都市の魅力と個性を発揮していくために必要な諸施策の推進を図る事を目的に設置されました。前の委員会において広瀬川中流域を、そして今委員会では広瀬川下流域に位置する歴史資産について市内視察を実施しました。調査の中では、それぞれの歴史資産とその歴史的背景や、現在置かれている状況、地域で保存活動等を担っている方々の存在など、一つの歴史資産にまつわるエピソードやその地域でどのように親しまれてきたのかを知る機会を得る事ができました。しかし、地域で歴史資産を管理、保存する活動を行なっている団体で、保存について悩みを抱えている、あるいは活動者の高齢化や後継者不足といった課題があることから、そのことで、本市にしかない歴史資産が風化し、その存在が知られないまま朽ちてしまうおそれがあります。今後は、歴史資産自体や周辺環境の情報を得ながら、地域で現在行われている保存活動を支えられる仕組みづくりが必要であります。また、観光分野における活用としては、地域の歴史資産同士の関係性を辿るような旅や一定のテーマを持たせた散策コースの創出などを提案いたしました。今後、次の委員会において広瀬川上流域の歴史資産調査を予定しており、この調査の後に広瀬川流域にある歴史資産の保存、活用等についてまとめた上で、委員会として提言できればと考えております。